

# 展サツデ上紙

「初秋」

新田 公彰

問 市制に対する方針 各地区の説明に述べたように今回の市制は国が合併町村に与えた恩典の一つでありこの恩典を活用する方針である。市制にどうして踏み切ったという、白根町の場合、市になったというが、それはあくまでも町百年の将来において町政の角度、住民の福祉の面などを考慮すれば市になった方が有利であると判断したのである。

問 新国道をどう考えるか 新国道は政府が行う工事であるが、来年度も引続き事業ではないが、町としては農産物を含めた大課題をやらねばならぬので、従って大きな関心をもち、中央と強力に接衝中である。

問 今後の事業は 一、現在白根地区と新飯田地区の一部に舗装工事を行っているが、来年度も引続き未舗装の市街地(八号線)の舗装を完成したい。二、町が発展を左右する重大課題をやらねばならぬので、従って大きな関心をもち、中央と強力に接衝中である。



## 市制は将来の発展の基

庭山町長語る

問 市制に対する方針 各地区の説明に述べたように今回の市制は国が合併町村に与えた恩典の一つでありこの恩典を活用する方針である。市制にどうして踏み切ったという、白根町の場合、市になったというが、それはあくまでも町百年の将来において町政の角度、住民の福祉の面などを考慮すれば市になった方が有利であると判断したのである。

問 新国道をどう考えるか 新国道は政府が行う工事であるが、来年度も引続き事業ではないが、町としては農産物を含めた大課題をやらねばならぬので、従って大きな関心をもち、中央と強力に接衝中である。

問 今後の事業は 一、現在白根地区と新飯田地区の一部に舗装工事を行っているが、来年度も引続き未舗装の市街地(八号線)の舗装を完成したい。二、町が発展を左右する重大課題をやらねばならぬので、従って大きな関心をもち、中央と強力に接衝中である。

**報根白**

発行所 白根町中央公民館  
印刷所 根白印刷所

町の戸籍	
8月31日現在	
人口	37,560人
世帯数	5,936
(4月以降)	
出生	363人
死亡	142人
結婚	292件

## 市制 いよいよ大詰へ

### 賛否を判断するために

市制問題もいよいよ最終段階に入った。昨今、農村部では市制反対同盟の論旨が、反対同盟の論旨と比較し正確な町の実情を反映している。

そこを精査して第三者の立場より充分に調査し、公正な材料を集めて期成同盟の論旨と比較し正確な町の実情を反映している。

## 白根の実情を分析する

### 町の歩みと市制への考え方

反対の理由の最初にこのことが記されているが、社会福祉事務所、職安所、高等学、公会堂、水道事業を作らねばならぬ。

◆ 体面上の施設は作らない

社会福祉事務所、職安所、高等学、公会堂、水道事業を作らねばならぬ。

## 農村振興にも市が有利

### 変革する？町東部

三男対策だけでなく、借換が有利であることを深く考へてみる必要がある。

望まれる正確な世論

以上、簡略に比較対照したところから、市制問題が論議されることには、町東部の利権争奪の一面が考慮されるのでないか。市制施行の問題も余すなく、

## 駐在室は直ちに改善

支所の停止でサービスが低下し旧村部の迷惑は多大である。

水道は各地で、白根水道は一文も負担しないで来年度の起債を償還して、職員を削減し、八百円の資材を購入した。

## 白根町将来の新産業開発に

### 関する基本的考察

加藤 清二 郎

私は今年に入ってから、それは白根町は労働力の輸出地ではなくなり、夕暮れの通勤者の列は、白根町を出発して東三河線まで、ひびくような白根町の産業が弱少であるという何より証である。

白根町の勤労努力家であり、商才に長けておられること、白根町とわす



白根町も生き残る道があるんだ。わが町も産業を興発し発展させよう。

本稿は去る七月二十四日、白根町加藤会、設立総会における講演の一部である。